

平成25年 1月28日
国土交通省九州地方整備局
八代河川国道事務所

「情報化施工」現場講習会を開催します

～南九州西回り自動車道・芦北出水道路～

国土交通省では、平成22年度より情報化施工技術の一般化・実用化推進に努めており、重点目標として人材の育成が求められております。

また当事務所では、南九州西回り自動車道・芦北出水道路の事業を進めており、現在施工中の「熊本3号 内野地区改良3工区外工事」では、情報化施工による工事を実施しています。この度、情報化施工の技術力向上を目的として、発注者（国、地方自治体）、施工者等を対象とした現場講習会を開催します。

◆現場講習会

【日時】 平成25年1月31日（木） 14時00分～16時00分

【集合場所】 芦北建設会館（0966-82-2006）

熊本県葦北郡芦北町芦北2788番地

【内容】

1. 情報化施工の概要説明（芦北建設会館）

講師：九州地方整備局 企画部 施工企画課

2. 工事現場での説明

場所：熊本県葦北郡津奈木町千代地先（現場位置図参照）

3. 工事名：熊本3号 内野地区改良3工区外工事

施工者：株式会社中山建設

TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理

TSを用いた出来形管理等

◆参加対象者 国土交通省、地方自治体発注担当者等、施工会社、（社）熊本県建設業協会 八代、人吉、芦北支部に所属する建設会社

◆主催 国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所

事業対策官 おがた つとむ 緒方 勤 （内線208）

品質確保課長 くぼた たかゆき 久保田 孝行 （内線271）

電話（代表）0965-32-4135

情報化施工 現場講習会 スケジュール

日 時：平成25年 1月31日（木）

14：00～16：00

集合場所：芦北建設会館（0966-82-2006）

熊本県葦北郡芦北町芦北2788番地

1. 芦北建設会館

①建設現場における情報化施工 (14時00分～14時30分)

説明者：九州地方整備局 企画部 施工企画課

②質疑応答 (14時30分～14時45分)

2. 現場へ移動

(14時45分～15時00分)

3. 情報化施工現場

(15時00分～16時00分)

工事名：熊本3号 内野地区改良3工区外工事 施工現場

場 所：熊本県葦北郡津奈木町千代地先

施工者：株式会社中山建設

①工事概要説明

説明者：主任監督員 山下建設監督官

②本工事における情報化施工について

説明者：株式会社中山建設

情報化施工機器メーカー

③質疑応答

4. 閉会

■情報化施工とは

情報化施工とは、建設事業における「施工」において、情報通信技術（ICT）の活用により、各プロセスから得られる電子情報をやりとりして高効率・高精度な施工を実現するものです。

施工で得られる電子情報を施工後の維持管理等に活用することによって、建設生産プロセス全体における生産性の向上や品質の確保を図ることを目的としたシステムのことです。



図 情報化施工の実現イメージ（情報化施工推進戦略より）

■情報化施工のイメージ

現在、建設現場では汎地球測位航法衛星システム（GNSS）やトータルステーション（TS）などの高度な測位システムの導入が進み、測量や検査に使用されています。このような情報通信技術（ICT）と電子化された施工図などのデータを活用することによって、施工現場では測量などの計測作業の合理化、建設機械の自動制御やナビゲーションによる品質、精度の向上、丁張なしでの施工による施工効率の向上が期待できます。また、出来形管理においても施工中のデータを電子的に記録できることから、任意点での計測が容易となり、施工者の品質管理・帳票作成作業、発注者の監督・検査業務においても効率化できることとなります。（次頁にイメージ図）

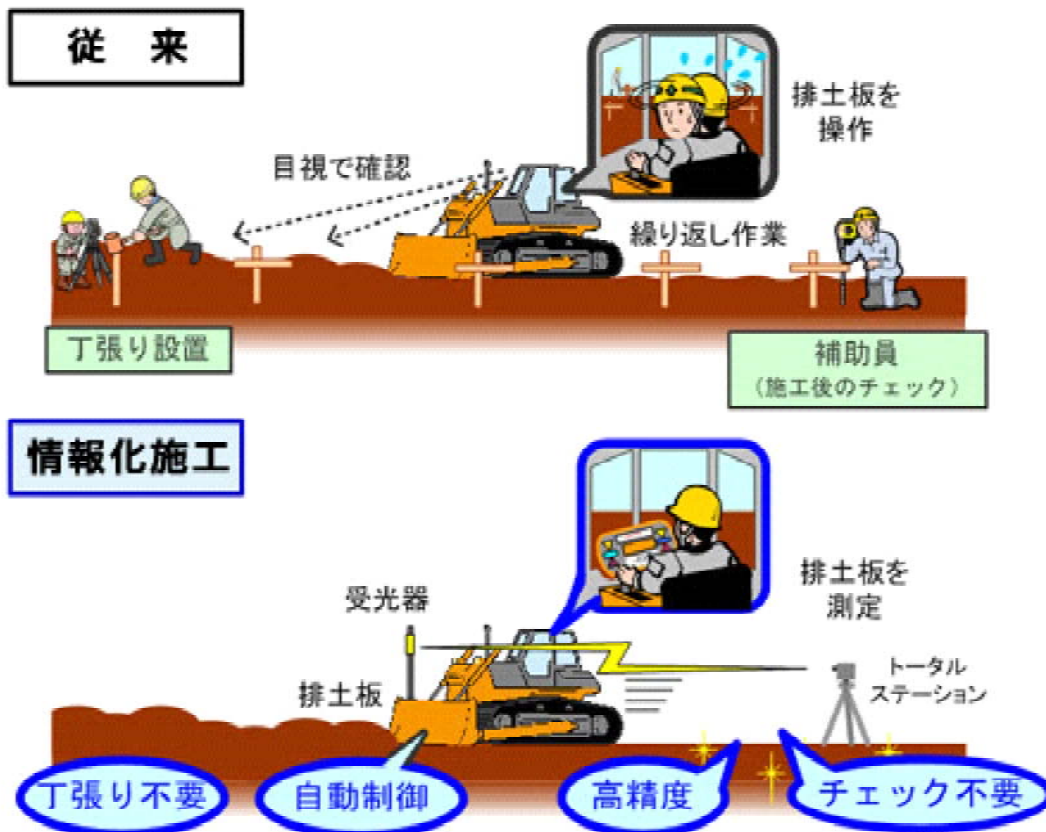


図 従来施工と情報化施工(建設機械の自動制御)の比較



図 従来施工と情報化施工(TSによる出来形管理)の比較